



国有林内の素材生産現場



集積された素材(丸太)



1伐2殖の列状間伐



林内に整備された作業道

素材(丸太)の生産事業を進めています

国では国産材自給率 50%達成に向け、現在各種施策を展開しています。一方、徳島県でも平成 36 年度県産材生産量 60 万m³の目標を掲げており、国、徳島県で国産材、県産材の需要拡大に取り組んでいます。徳島森林管理署では、森林資源の成熟に伴い、今後、主伐期を迎える林分(人工林)が増大していくことから、現地の状況に応じた適切な伐採・搬出・販売(立販、システム販売等)を行い、国有林材の安定的な供給に努めています。

平成 29 年度は、年間 5,100m³の素材(丸太)生産や、約 10,600m³の立木販売を計画し、素材の安定的な供給に努めています。

シラクチカズラの育成について学びました

徳島森林管理署と三好市教育委員会、祖谷のかずら橋架け替え資材確保実行委員会では、三好市の「木の文化」の象徴である国指定重要有形民俗文化財の祖谷の蔓橋と奥祖谷二重かずら橋の架け替え資材(シラクチカズラ)の育成・確保に努めています。9月23日、香川大学副学長の片岡教授に直接現場に来て頂き、シラクチカズラの育成・管理について学びました。挿し木となるシラクチカズラの見分け方や、育苗過程での日照・水管理、林内への植え付け後の管理など、多岐にわたる分野について指導を受けました。今後、徳島森林管理署、三好市教育委員会では、今回の指導をベースに継続的に確実なシラクチカズラの育成に取り組んでいきます



木の文化の象徴蔓橋



播種した苗木(H28,11)



片岡教授による育苗指導



今春はじめて活着しました

剣山の歩道修理に取り組んでいます

剣山(1,955m)は、徳島県の三大観光地のひとつに数えられ、年間多くのハイカーが県内外から訪れます。剣山周辺の国有林を管理する徳島森林管理署では、今年度から3か年で、剣山山頂に至る**国有林内の歩道修理**や**看板の立て替え**などを集中して行い、剣山を核とした観光振興を支援していきます。

今年度は、リフト終点の「西島駅」から次郎笈に至る歩道の修理整備に取り組んでいます。この歩道は起点から約 600mの地点で数年前に崩落が発生し、その後、通行禁止措置が取られている歩道で、登山シーズンに間に合うよう、急ピッチで整備事業を進めています。なお来年度は、案内板の立て替えなどに取り組む予定です。



崩落した国有林内の歩道



整備方針を検討(昨年度)



丸太敷(工)



整備状況(全景(途中))



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818
〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1

